

立山山行報告

【山行日】2016年4月29日～5月1日(金～日)

【集合】岩舟支所P AM 2:00

【費用】マイカー1台 : 34,000円

【メンバー】CL:鈴木 大西、香川、藤原、松館、渡辺

29日 雪 立山駅からケーブル&バスで室堂駅まで行き、「雪の大谷ウォーク」を楽しむ。

岩舟支所P2:00 = 立山駅 P6:30/7:00++室堂駅 8:15/10:30(雪の大谷ウォーク)～室堂山荘 10:40

今年のGWは立山「雪の大谷ウォーク」と浄土山&雄山の雪山登山を計画した。

早朝2時、雨の中岩舟支所を出発し、立山観光の基地「立山駅」をめざし高速道をひた走る。



時間以上待ち時間があり、ザック以外の荷物をコインロッカーに預け待合室で時間をつぶす。5分前に入口に行くと凄いことになっていた。バスターミナル一杯に人が並んでおり、出口の階段からも長蛇の列が出来ている。待合室からも2列で並んでおり、我々もその後ろに並んだ。雪の大谷への出口は狭く、2列で進むため中々外に出られない。



いてあった。

予定通りの時間に到着し、駅前の無料駐車場に車を止めることが出来た。立山駅は何回も利用しているが、駅前の駐車場に止められたのは初めてのことだ。ケーブルカーとバスのチケットは、ネットで7時発を予約したのでスムーズに乗車することが出来た。雨は上がって明るくなってきたが、室堂平は雪が降っているとの情報が聞こえてきた。天気予報は良くない予報だったので、今日の予定は「雪の大谷ウォーク」を楽しんだら宿に行くことに変更したので問題ない。室堂駅に着くと、「雪の大谷ウォーク」は9時30分から開始との案内があった。入場まで1



やっと順番が来て階段を降り、外に出ると細かい霰のような雪が降っていた。観光客の列に押し出されるように進むが、足元が雪でグシャグシャになっていてゆっくりしか歩けない。しばらく歩くと人ごみも少なくなり記念写真を撮れるようになる。雪の大谷の看板の前で記念写真を撮り、雪の高さが最高地点まで行き引き返す。今年は降雪量が例年よりも少なく、最高地点の高さは13mと書



バスターミナルに戻り、預けた荷物を取り今宵の宿「室堂山荘」へ向かう。雪と強風に難儀しながら5・6分歩くと山荘に着く。浄土山や雄山へ登るには最も近くて便の良い場所に立つ山小屋だ。受付を済ませ、一番奥のC棟2階の部屋へ案内される。男女3名づつに分かれ、2部屋に落ち着く。食堂で昼食を食べた後各自自由に過ごし、3時過ぎに入浴し4時から宴会が始まる予定だ。初日の宴会はサミットに出されて超有名な日本酒「獺祭」と「八海山」、ヒロ君が選んでくれた赤ワインと白ワインが並び超豪華版。お酒の味を確認しながら、徐々に話が盛り上がり楽しい時間が過ぎて

行く。

気が付けば夕食の時間になり、食堂へ移動する。美味しい夕食をいただき、明日の予定を打ち合わせし早めに床に就いた。

30日 晴 室堂山荘から一ノ越までピストンし、室堂平をトレッキングで周遊する。

室堂山荘 7:20～一ノ越 8:20/9:10～室堂山荘 10:00/10:20～ミクリガ池 10:40/11:20～室堂山荘 12:00

今日は、3日間の中で晴れの予報の貴重な一日である。朝早く起きて窓の外を見ると、雄山や大日岳が青空の下白く輝いていた。「よし！！今日は雄山の山頂から絶景が見られるぞ！」と思っていたが現実はそれほど甘くないことを思い知らされる。6時に朝食をいただき、準備を整え外のベンチに集合する。素晴らしい天気、雪の雄山や大日岳の景色に「ウワ～来て良かった～～」と歓声が上がる。

今日の行動予定を打ち合わせし、ビーコンのチェックを行ってから男女に分かれて出発した。男子隊が先行し、一ノ越から雄山に登り一ノ越まで戻って女子隊と合流し、全員で浄土山へ登る予定。

除雪車の道を進み、途中から先行者のトレースを追って登って行く。2600mを過ぎると急に風が強くなり、立ち止まって強風をやり過ごす。風でトレースも消されてしまうが、一ノ越に向かって真っすぐ登って



行く。一ノ越に近づくにしたがって風が強くなり、一ノ越では立っているのが困難なくらい強風が吹いている。風下の建屋の陰に回り込むと、風を避けて登山者が大勢休んでいた。一ノ越から反対側には、後立山連峰から槍ヶ岳、笠ヶ岳等々の絶景が広がっていた。我々もザックを下ろし、雄山へ登るか様子を見る。二ノ越付近を登って行くパーティも、強風に苦戦して立ち止まっていた。

下りてきたパーティの様子を聞くと、「上は風が強危険なので登頂を断念して降りてきた。」とのこと。浄土山に登っても風に吹かれに行くようなもの、今日は諦めて下りますと言っていた。

我々も登頂は断念し下ることに決めた。女子隊の到着を待つが中々登ってこない。強風の中、何回も見に行くが姿が見えない。女子隊にも後立山連峰や槍ヶ岳、笠ヶ岳の絶景を見せてあげたい。

やっと女子隊が到着し、絶景をバックに記念写真を撮る。状況を説明し、浄土山への登頂は諦め室堂へ下山する。少し下ると風は弱くなり、楽しい雪道歩きに皆ご機嫌。室堂山荘まで戻り、アイゼンなど必要の無い物は部屋に置きトレッキングに出かける。



室堂平は風も無く穏やかで、素晴らしい天気。立山三山の絶景を楽しみながら歩き、皆さんご機嫌で会話も弾む。室堂駅付近は大勢の観光客で賑わっていたが、ミクリガ池へ向かって歩くと観光客は少なくなる。ミクリガ池温泉の脇にあるベンチを確保し、ランチタイムとする。大日岳の絶景を眺めながら、温かいラーメンとパンやおにぎりをいただき至福のひと時。ミクリガ池を廻るように進んで室堂山荘へ戻り、山荘脇のベンチでのんびりと景色を

楽しむ。

しばらくすると風が出てきて視界も悪くなり、山荘に入って休むことにする。3時から風呂に入り、昨日同様4時から宴会が始まった。今日は立山で遭難事故が数件あったようで、その話題で宴会もあまり盛り上がらない。我々も無理をしないで下山し、良かったねと胸をなでおろす。翌日のニュースでは、雄山の二人は無事救助されたが富士ノ折立の二人は滑落して死亡したと伝えていた。

6時から夕食を食べ、明日の準備をしてから早めに床に就いた。

1日 雪のち晴 室堂駅から立山駅まで下り、立山観光を楽しみ岩舟支所へ帰る。

室堂山荘 8:00～室堂駅 8:10/8:30+++立山駅 9:40/10:00＝立山博物館&雄山神社 10:20/11:00＝有磯海 SA11:30/12:20＝岩舟支所 P17:15

朝起きて窓の外を見ると、強風に雪が舞っており今日も天気は崩れる予報。



も10分早く出発できた。立山駅に着き、それぞれお土産を買ったりソフトクリームを食べたりした後、駐車場に向かう。山から下りると天気は良く、途中の立山博物館と雄山神社を見学することにした。

博物館は立山の自然や立山信仰の成り立ち



予定を変更し、混雑しないうちに立山駅まで降りることとする。6時に美味しい朝食をいただき、荷造りをしてのんびり過ごす。外を見ると風も雪もおさまっているので、8時に山荘を出て室堂駅に向かう。ホワイトアウトで2～3m先くらいまでしか視界が効かない。竹のポールを頼りに室堂駅まで歩き、バスターミナルの改札に並ぶ。アルペンルートの除雪作業の為、バスの出発が遅れると説明があったが予定より



と、人間とのかかわりが分かりやすく展示されている。

立山曼荼羅の精神世界に、当時の人々は何を見たのだろうと想像しながら楽しく鑑賞できた。



隣にある雄山神社も参拝し、信仰の山として崇められてきた立山に寄せる人々の心を感じることが出来た。もっと見たかったが、有磯海 SA の20個限定「海鮮丼」が売り切れてしまうので急いで出発した。

急いで出発したおかげで無事「海鮮丼」をゲットできたが、なかなか番号を呼ばれない。しびれを切り督促したが、「今、作っていますので、もう少しお待ちください。」との返事。うどんセットを頼ん

だ。嬢はもう食べ終わってしまった。ようやく出てきて食べた海鮮丼は新鮮で美味しく、皆遅かったことなど忘れて大満足で食べていた。帰路の車中では「あのすばらしい景色が、苦勞せずに見られるので、もう一度来たいね。」とか「雪の大谷ウォークを楽しむだけでも良いね」と話が弾んでいた。

高速道も順調に走り、無事に5時過ぎには岩舟支所へ着くことが出来た。